



高齢者大学創立50周年 ～その歴史を振り返る～

高齢者大学が、今年でめでたく創立50周年を迎えました。高齢者の生涯学習の場として設置されていますが、どんな学校かご存じでしょうか？知名度アップ、入学生拡大に向け、3回連続で高齢者大学をご紹介します。

こんな学校ですよ…

◆創立は

⇒昭和49年5月9日に町長を総長として「生涯学習の重要性に鑑み、生活の向上を図るため常時家庭にありがちな高齢者に学習の機会を与えることを目的とする」として開設されました。

◆活動場所は

⇒開校時は旧公民館で、昭和55年9月からは新設された中央公民館・白老コミセンで活動していました。平成2年10月から現校舎である高齢者学習センターへ移転しました。令和7年4月からは旧社台小学校校舎へ移転する予定です。

◆学生数は

⇒昭和49年度（初年度）に2学年制の92人でスタート。昭和63年度からは4学年制となり学生数も増加しました。平成11年度の384人をピークに減少してきましたが、令和5年度は21人の新入生を迎えて19年ぶりに増加し、令和6年度も前年度と同数の141人が在籍しています。

◆地域貢献活動として

⇒昭和59年4月からフラワー友の会活動として、ビニールハウスや地域のハウスで花苗を育てて、花壇に植えるなどの環境整備作業に、約20年間取り組み続けていました。その間に、胆振管内社会教育実践表彰（平成2年）や第7回「緑の愛護」功労者建設大臣賞（平成7年）などを受賞しています。

◆世代間交流活動として

⇒昭和55年6月の緑丘小学校との交流を皮切りに、今日に至るまで町内の保育園や小学校などとの昔遊び交流や高校の授業サポートなどによる世代間交流事業に継続的に取り組んできました。

昭和49年度 第1回修了式



平成2年から利用の現校舎



昭和60年 街路樹の花壇整備



昭和62年 白老小学校との交流



ちなみに開校初年度（昭和49年度）の学習活動は…（抜粋）

- 歩け歩けポロト湖畔一周（6・27）
- 実技指導～趣味ゆたかに（8・7）
- 余暇の善用～クラブ活動を楽しむ（12・13）
- 講話「老人とユーモア」（2・5）